



カトリック 小田原教会からの お知らせ

2021年9月号 No.137

小田原教会の守護聖人・幼いイエスの聖テレジア

8月28日 教会委員会発行

〒250-0011 小田原市栄町 4-6-5

TEL 0465-22-2590 FAX 0465-22-3522

神こそが希望の源であると信じて生きる

主任司祭 宮内 毅

留学中にお世話になった典礼神学の先生（米国人のイエズス会司祭）が、あるとき主日のミサの説教について、次のようなことをおっしゃっていました。「主日のミサの説教のキーワードを1つだけ挙げるとしたら、それは『希望』でしょう。説教を聞いた人が、次の1週間希望を持って生きられるようなメッセージが求められていると思います」。この言葉は今でも心に残っています。確かに、もし自分が今どのような説教を聴きたいかと問われれば、「希望を与えてくれる説教を聴きたい」と答えることでしょう。一方で、説教をする立場の人間としては、希望を与える説教をするというのはかなり高いハードルであると感じます。

そのように感じる理由の一つは、私自身が希望を見出すことに困難を覚えているからだと思います。全くと言ってよいほど収束が見えない新型コロナウイルス感染症の拡大や、急速な温暖化の結果としか思えない近年の異常気象に直面したとき、将来への希望よりも不安が心を占めてしまうことが多いような気がします。私たちの教会を見ても、若い世代や子どもたちの姿が非常に少なく、先行きが心配になることがあります。そして、これらの課題をどのように解決していったらよいかかわからず、また問題を前にして自分がいかに無力であるかを思い知らされるため、希望を持つことがさらに難しくなっているように思います。

しかし、希望は私たちの生きる力そのものですから、希望を持たなければ私たちは今直面している課題と向き合うことはできません。幸い、私たちは信仰のお恵みをいただいているので、どんな時にも神に希望をかけることができます。神よりも目の前の現実の方に目を奪われてしまいがちですが、希望の源である神から生きる力を汲み取ることがなければ、本当の意味で現実と向き合うことはできないでしょう。

聖書は、神に希望を置いて生きることの大切さを強調しています。

「わたしの魂よ、沈黙して、ただ神に向かえ。神にのみ、わたしは希望をおいている」（詩編 62：6）

「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」（エレミヤ書 29:11）

「希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです」（ローマの信徒への手紙 5：5）

これらの言葉に励まされながら、私たちは神こそが希望の源であるとともに信じて生きていきましょう。神に希望をかけることが目の前の問題の解決のために何の役に立つのか、と疑問に思うことがあるかもしれませんが、それでも、キリスト者である私たちは神に希望を置くところから始めるしかないと思います。

祈りのグループ（第3回）のお知らせ

「センタリング・プレイヤー」を通して沈黙の祈りを学ぶ

日時：9月25日土曜日 16:00～17:30

場所：小田原教会 聖堂

今回は以下のような内容を考えております。

- ①前回のおさらい（レクチオ・ディヴィナについての復習。初めての参加者がいらっしゃる場合はセンタリング・プレイヤーについての簡単な説明もする）
- ②沈黙の祈りを実践してみてもの感想や質問（参加者）とそれに対するコメント（宮内）
- ③祈りに関する短い話
- ④センタリング・プレイヤーの実践（20分間の沈黙の祈り）
- ⑤レクチオ・ディヴィナの実践（沈黙のうちに聖書のことばを味わう）
- ⑥今後のグループの持ち方についての意見交換
どなたでもご参加いただけます。

今回が初めての方も、どうぞ心配なさらずにご参加ください。

一緒に静かに祈る時間を持ちたいと思います。

【委員長より一言】

皆様 こんにちは。今年は本当に長雨の続いた異常と思える夏でした。野菜、お米の生育に影響が無いと良いと思います。然し、良い面を見れば猛暑日が少なかったように思え、「夏バテ」も少ないのでは、と思います。

コロナの感染状況が深刻な状況になりつつあります。コロナ専門病棟を増やしても、担当する医療関係者には限りがあります。感染しない事が一番ですが、家に引きこもって誰とも会わなければ、感染する可能性は非常に少ないでしょうが、普通の人にはそのような生活は不可能です。

（私の場合ですが）自分がどうしたら感染しないで済むのか考えて、不要不急の行動をする事が、自分のバランスを保つ事が出来ると思っています。

不要不急の行動をしないで問題無い人は、あえてしないでください。委員長 宮久保秀一

【典礼部】 祈る力を育てる部門

■ヨハネ・フランシスコ市岡之俊神父命日祭（9月16日）について

9月12日（日）・9月18日（土）・9月19日（日）・9月26日（日）に追悼の意向ミサを行います。

■幼いイエスの聖テレジアのミサについて

10月1日（金）10時の初金ミサでお祝いします。

■敬老の日（9月20日）高齢者の祝福の祈りについて

10月10日（日）・10月16日（土）
10月17日（日）・10月24日（日）のミサの中で行います。

■10月3日（日）第3班のミサは13時からです。

時間をお間違えないようお願いします。

■第4回典礼部会

9月5日（日）ミサ後 11時からマリア学院1階で開催します。

【宣教部】 信仰を伝える力を育てる部門

★共同宣教司牧サポートチーム神奈川から「同伴者養成コース」の講座案内がきています。

募集要領はお御堂入口の掲示板に貼り出していますのでご覧ください。

締切日は9月26日です、お早めにご連絡下さい。

★2022年のカトリック手帳の注文書をマリア学院に置きます。サイズは大判、マンスリー、ポケット判で昨年と同様ですが無地は三種類（こん、えんじ、みどり）となっています。注文される方は9月26日（日）までに指名をご記入ください。

【庶務】

小田原教会 E-mail 連絡網は現在多くの方が登録されています。緊急時の連絡や毎月のお知らせを E-mail にて配信しています。まだ登録されていない方は是非教会委員へ登録の連絡をしてください。申込み用紙はマリア学院受付にあります。

〈お知らせ〉

★教会だより夏号に掲載しました『涅槃に行った猫』のプロモーションビデオができました。よろしかったらご覧ください。



左の QR コードを読み込みアクセスしてください。

<https://youtu.be/NA8cK69abD0>



【広報】

★教会だより夏号（箱根教会特集）をまだ手にされていない方は受付に置いてありますので記入用紙に氏名記入の上お取りください。

★教会だより編集委員会よりスタッフ募集

人手が不足しております。関心がある方でパソコンでワードが出来る方を募集しています。自宅のできる作業です。教会だよりをもっと見やすく良くしていきませんか。

★絵心のある方へ

教会建物、ルルドなどなどのスケッチを描いてくださいませんか。または、過去にスケッチがあれば教えてください。教会だより、150周年記念誌等に掲載予定です。

2021年9月 地域別分散型ミサ

日	曜日	教会暦と典礼	時間	班名(グループ別)	会合 他
3	金	週日のミサはありません			ロザリオ会はお休みです。
4	土	年間第22主日のミサ	18:00	土曜ミサ参加者+第1.2.3班	教会だより夏号配布
5	日	年間第22主日ミサ 宮内神父	10:00	第2班 11:00 典礼部会	教会だより夏号配布
10	金	週日のミサはありません			
11	土	年間第23主日のミサ	18:00	土曜ミサ参加者+第1.2.3班	教会だより夏号配布
12	日	年間第23主日ミサ スダーカル神父	10:00	第3班	教会だより夏号配布
17	金	週日のミサ	10:00		
18	土	年間第24主日のミサ	18:00	土曜ミサ参加者+第1.2.3班	教会だより夏号配布
19	日	年間第24主日ミサ マッカーティン神父	10:00	第1班	教会だより夏号配布
24	金	週日のミサ	10:00		
25	土	年間第25主日のミサ	18:00	土曜ミサ参加者+第1.2.3班	教会だより夏号配布 16:00 センタリング・プレイヤー3
26	日	年間第25主日ミサ テハン神父	10:00	第2班	教会だより夏号配布

10月 地域別分散型ミサ

1	金	週日のミサ	10:00	ロザリオ会10:40	
2	土	年間第26主日のミサ	18:00	土曜ミサ参加者+第1.2.3班	教会だより夏号配布 幼稚園運動会
3	日	年間第26主日ミサ 宮内神父	13:00	第3班	教会だより夏号配布 時間をお間違えないようお願いします。

- 班分けは、教会「電話連絡網2019年9月1日版」のページ数①～⑥の組み合わせにより行います。
- 各自、ご自分の班を確認して下さい。
電話連絡網に名前がない方、班が分からない方はどちらかのミサにご参加ください。
- 「電話連絡網2019年9月1日版」がお手元にない方は委員まで申し出ください。

第1班

- ①蛭田・栢山・他
- ③小田原市内・他

第2班

- ②小田原市内・他
- ⑥箱根・他

第3班

- ④鴨宮・湯河原・他
- ⑤南足柄・山北・開成・他